

DX検定™

日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定

第8回 『DX検定™』（日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定） 検定結果と検定概要について

2022.3

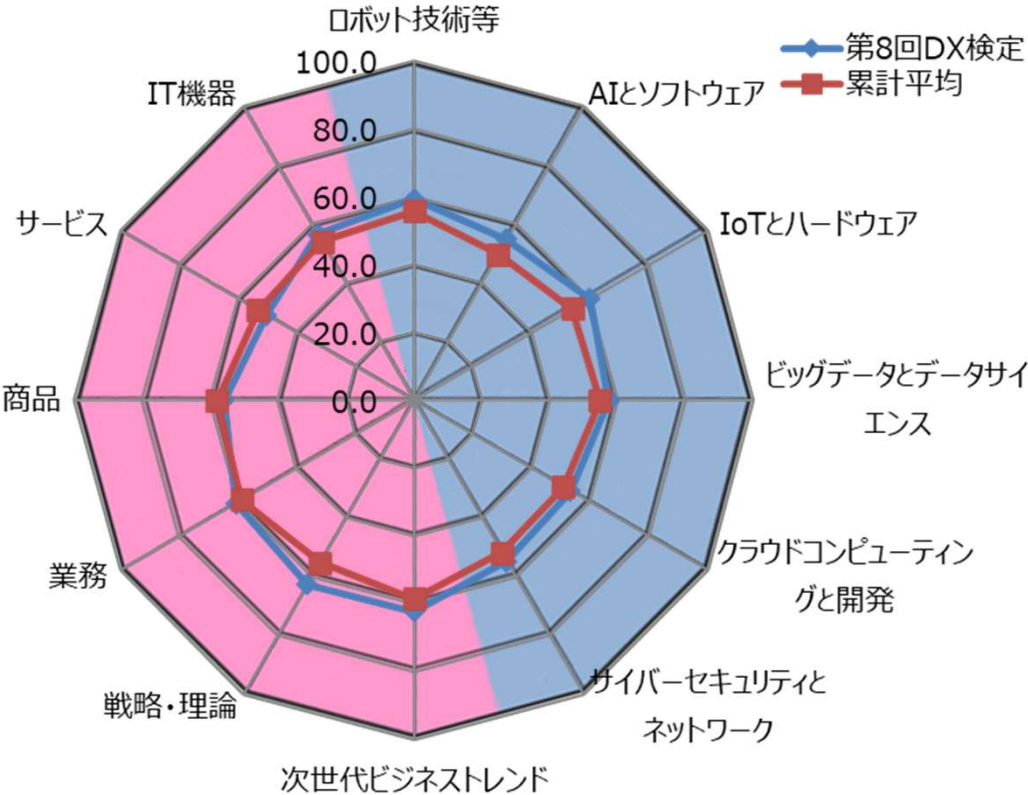
日本イノベーション融合学会／DX検定™小委員会
検定事務局：株式会社ネクストエデュケーションシンク

1. 本検定（第8回）の実施概要

名称	『DX検定™』（日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定）	
開催日	（法人）2022年1月24日（月）～28日（金） （個人）2022年1月30日（日） ※受検開始時間は各日の10時、13時、15時、17時の1日4回	
形式	WEB検定	
概要	IT先端技術トレンド（IT）とビジネストrend（BT）の知識検定	
試験概要	60分間で120問の知識問題（多肢選択式）	
出題領域	IT先端技術トレンド（IT）の6分野とビジネストrend（BT）の6分野	
	【IT先端技術知識トレンド】 1. AIとソフトウェア 2. IoTとハードウェア 3. ロボット技術等 4. ビッグデータとデータサイエンス 5. クラウドコンピューティングと開発 6. サイバーセキュリティとネットワーク	【ビジネストrend】 7. 次世代ビジネストrend 8. 戦略・理論（思想としてのIT） 9. 業務（仕組みとしてのIT） 10. 商品（商品としてのIT） 11. サービス（サービスとしてのIT） 12. IT機器（道具としてのIT）
受検の前提	なし	

2-1. 第8回検定採点結果（全体平均）

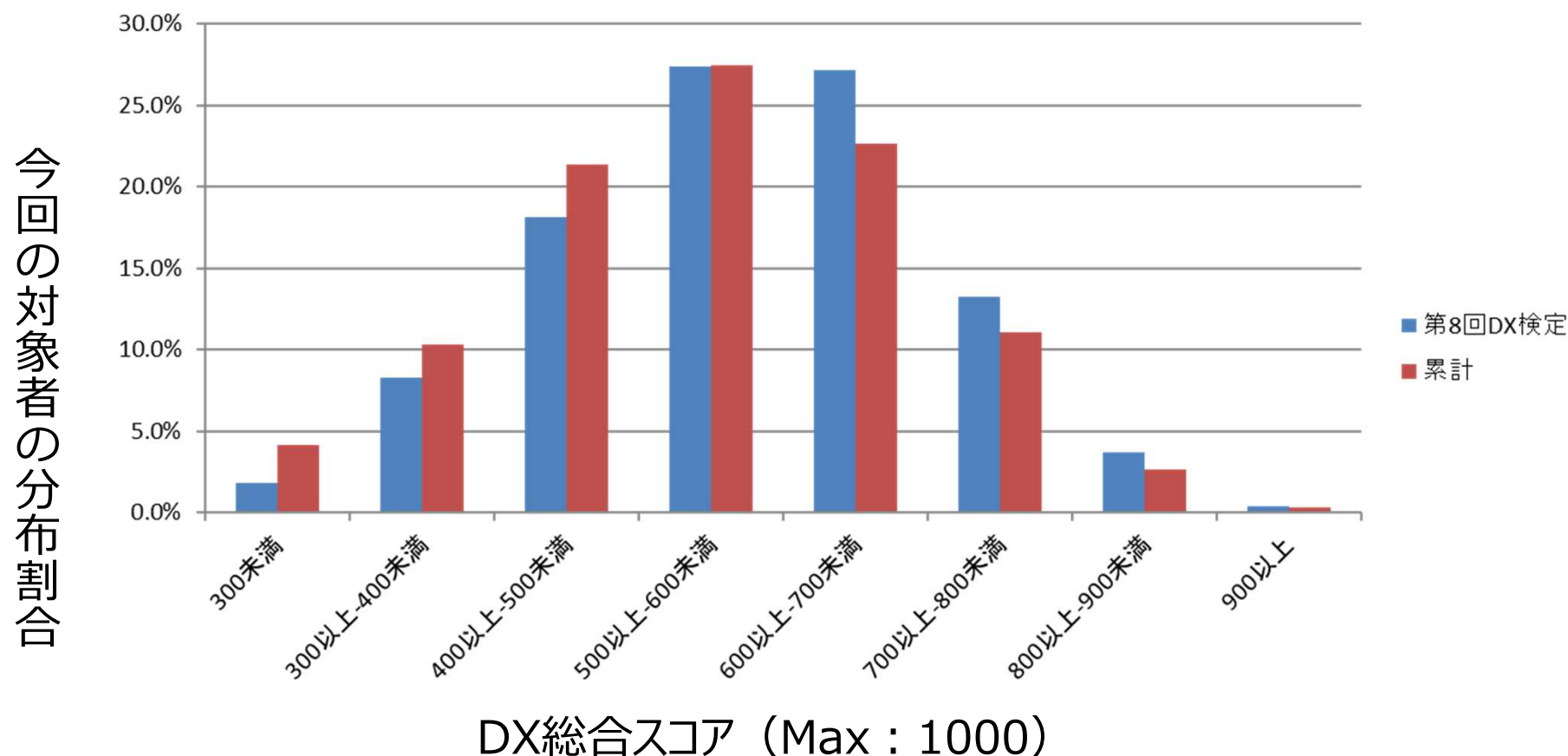
【第8回平均】DX検定スコア 573 （ITスコア 283 ／ BTスコア 290）



※累計：第1回～第8回

項目	区分（スコア）			IT（得点率）						BT（得点率）					
	総合スコア	IT	BT	ロボット技術等	AIとソフトウェア	IoTとハードウェア	ビッグデータとデータサイエンス	クラウドコンピューティングと開発	サイバーセキュリティとネットワーク	次世代ビジネストレンド	戦略・理論	業務	商品	サービス	IT機器
第8回平均	573.1	283.1	290.0	59.3	54.7	59.9	57.5	53.3	54.6	62.2	62.7	60.4	56.0	50.0	56.3
累計平均	545.4	264.1	281.3	55.8	49.6	53.8	54.8	50.9	51.7	58.5	55.1	58.5	58.0	53.1	53.9

2-2. 第8回検定採点結果（得点別人数分布割合）



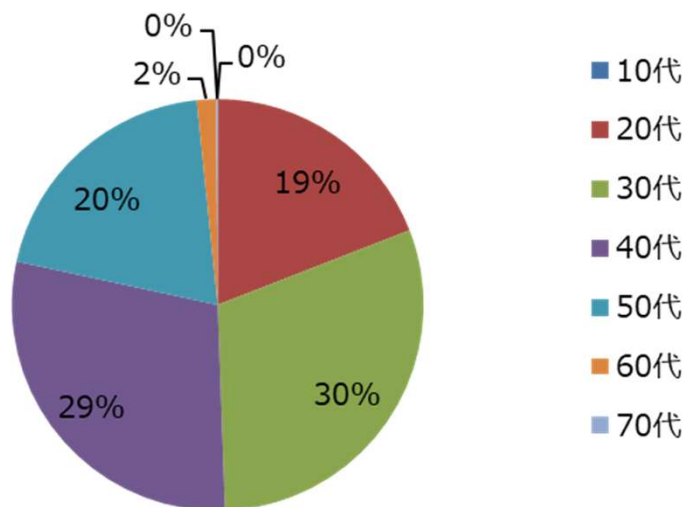
【認定者割合】

認定クラス	第8回	累計
DXプロフェッショナル レベル（800以上）	4.1%	3.0%
DXエキスパート レベル（700～799）	13.2%	11.1%
DXスタンダード レベル（600～699）	27.2%	22.6%
未達	55.5%	63.4%

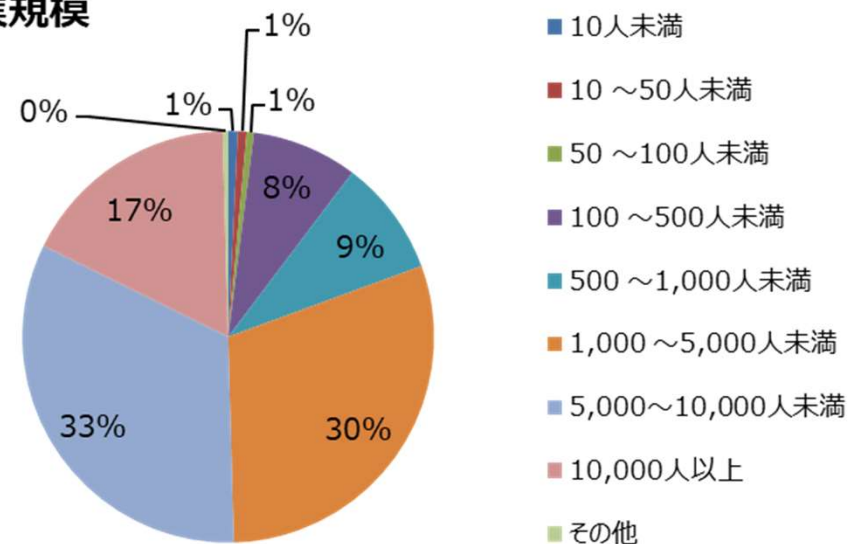
3. 【参考】受検者 属性-1

(第8回)

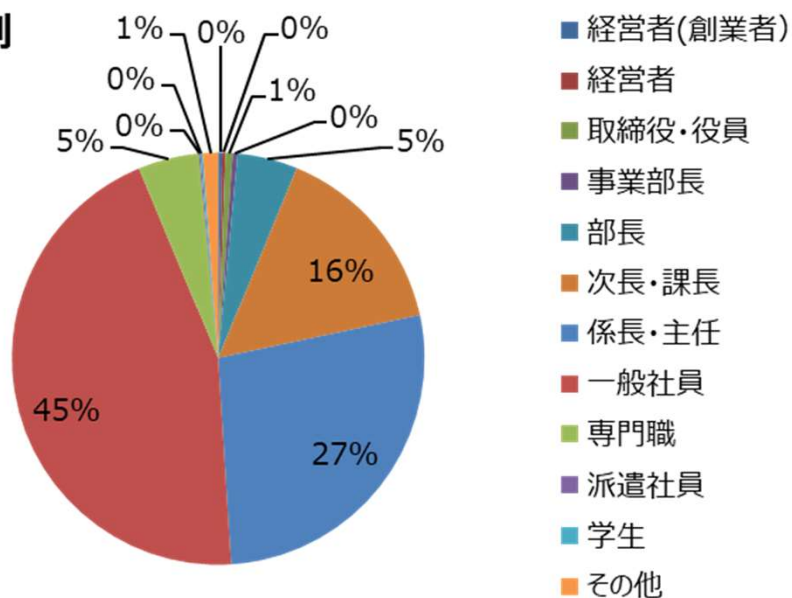
年齢別



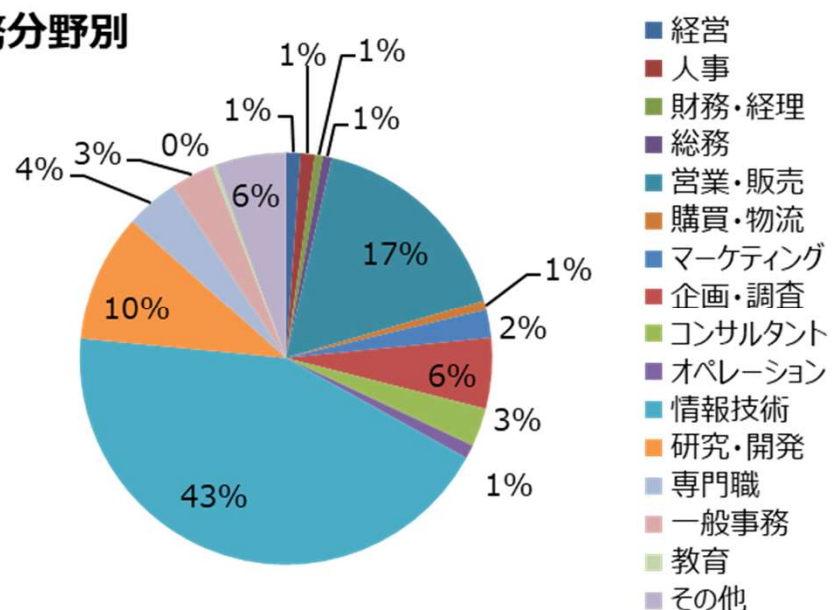
企業規模



役職別



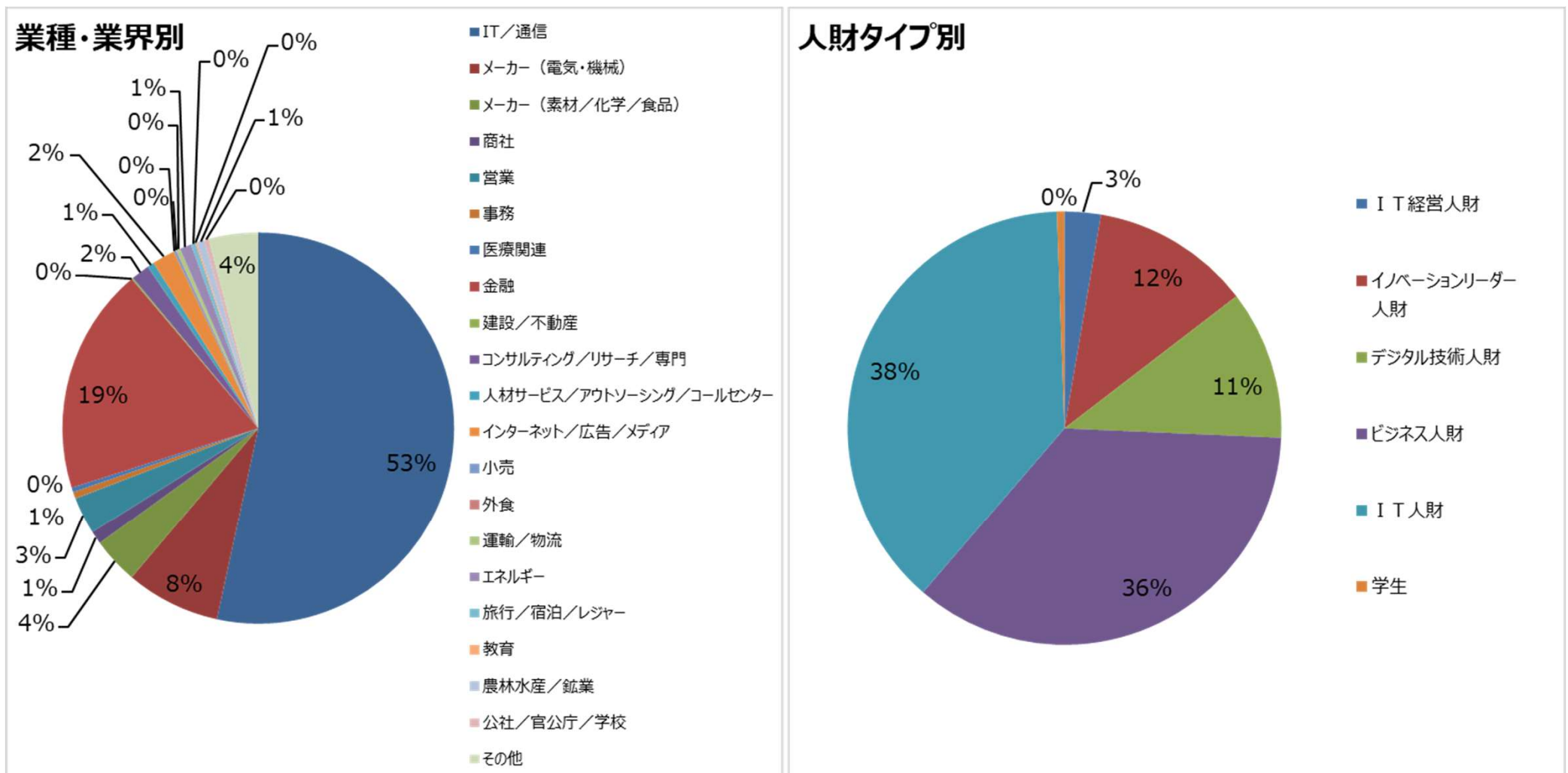
業務分野別



※受検者属性は、受検時に受検者が属性アンケートにて回答頂いた内容の集計です。

3. 【参考】受検者 属性-2

(第8回)



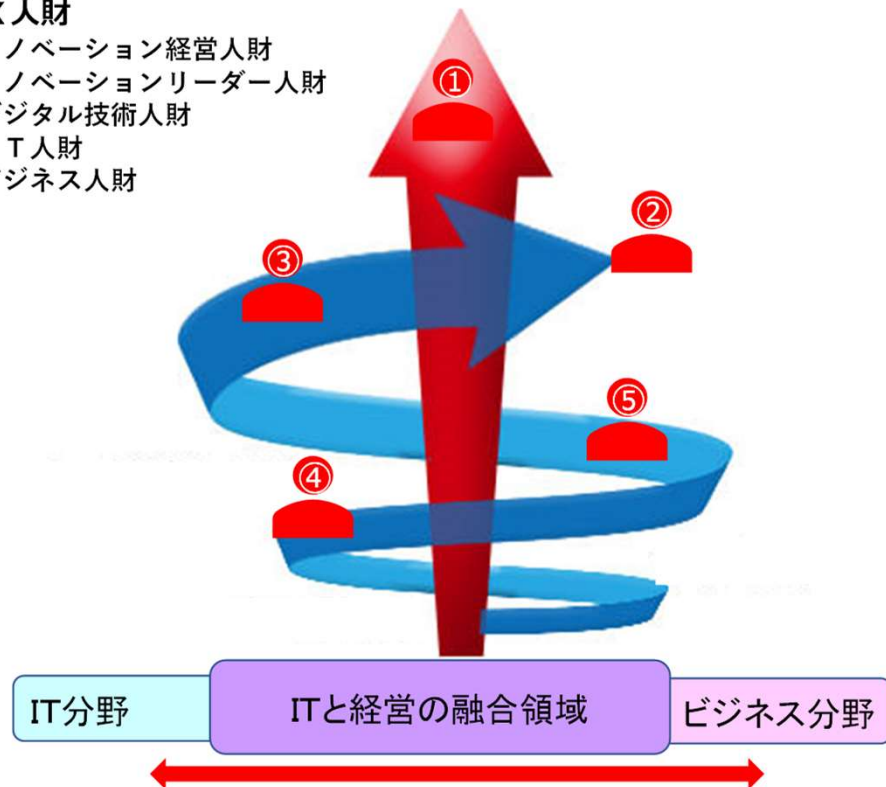
※受検者属性は、受検時に受検者が属性アンケートにて回答頂いた内容の集計です。
また、DX人財タイプは、ご自身の業務タイプに近いものを回答されています。

4. 「DX検定™」（ITBT®検定）における「DX人財」とは

DX人財の能力アップ

DX人財

- ①イノベーション経営人財
- ②イノベーションリーダー人財
- ③デジタル技術人財
- ④IT人財
- ⑤ビジネス人財



- 左図は、ITと経営の融合領域を拡大させることにより、デジタルトランスフォーメーション時代においてDX人財の能力アップをさせることを表しています。
- DX人財は、IT分野の方がビジネス（経営）分野の重要性を理解し、ビジネス分野の方がIT先端技術の必要性を理解する、すなわち「ITと経営の融合領域」の中に位置づけられます。
- 経営者から現場の担当者まで、IT先端技術を理解しビジネス問題の解決にあたり、新たな製品・サービスの開発にIT先端技術を活用するビジネス環境を想定しています。このようなビジネス環境で、DX人財（①～⑤）がどのように位置づけられるかを右の図中に示しています。

DX人財	概要
イノベーション経営人財	経営にITを活用し、イノベーション、デジタルビジネスを実践する経営者/専門家
イノベーションリーダー人財	経営変革プロジェクトを推進・実施するイノベーションリーダー
デジタル技術人財	イノベーションプロジェクトでデジタル技術を活用し、価値創造を実現する技術者
IT人財	IT技術を基盤としたプロジェクトでIT先端技術を実装する技術者
ビジネス人財	現場において、IT先端技術でビジネス問題解決に従事する担当者または管理者

5. 日本イノベーション融合学会「DX検定™小委員会」による「DX検定™」シリーズの目標スコアレベル（Ver2.0）（参考）

■活用方法

社内のDX人材育成の目標として、人事部・人材開発部等での人材育成における経年での効果測定、DX部門やDXプロジェクトの人材選抜に、社内の社員のDX学習ムードの醸成に、ベテラン社員のリスキングのきっかけに、社内のDX人材認定の評価指標の1つとして等、ご活用いただいております。

■「DX検定™」「DXビジネス検定™」認定レベル （※認定レベルは2年間有効）

スコア	認定レベル
800以上	DX、DXビジネス プロフェッショナル レベル
700以上	DX、DXビジネス エキスパート レベル
600以上	DX、DXビジネス スタンダード レベル

IPAの定義によるDX推進人材像（例）※1	
人材の呼称例	人材の役割
プロデューサー	DXやデジタルビジネスの実現を主導するリーダー格の人材（CDO含む）
ビジネスデザイナー	DXやデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担う人材
アーキテクト	DXやデジタルビジネスに関するシステムを設計できる人材
データサイエンティスト	DXやデジタル技術（AI・IoT等）やデータ解析に精通した人材
UXデザイナー	DXやデジタルビジネスに関するシステムのユーザー向けデザインを担当する人材
エンジニア／プログラマ	上記以外にデジタルシステムの実装やインフラ構築を担う人材

「DX検定™」シリーズ 標準 目標スコアレベル	
DX検定™	DXビジネス検定™
850以上 （CDOは900以上）	850以上 （CDOは900以上）
800以上	800以上
800以上	800以上
750以上	750以上
700以上	700以上
650以上	650以上

※1 （赤枠内部分）

出典：独立行政法人情報処理推進機構「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」（2019年5月17日）」

6-1. 本検定を受検された方のスキルアップ／参考図書

「DX検定™」（ITBT®検定）は、IT先端技術とビジネストrend知識の検定試験であり、「DX検定™」（ITBT®検定）が、それらの知識レベルを高め、「DX人財」になるための出発点です。そして、IT先端技術とビジネストrend知識の理解度を高め、目標となる「DX検定スコア」を取得するためには、継続的な学習が不可欠です。

以下に、参考図書をご紹介します。（※参考書、eラーニング教材は予告なく最新のものに更新されます）

V202201



「図解コレ1枚でわかる
最新ITトレンド 装改訂3版」
(株式会社技術評論社)



「AI白書2020」
(株式会社KADOKAWA)



「イラスト&図解でわかるDX
(デジタルトランスフォーメーション)」
(彩流社)



「インターネット白書2021
ポストコロナのDX戦略」
(インプレスR&D)



「日経テクノロジー展望2020
世界を変える100の技術」
(日経BP)



「プロセスで解き明かす
イノベーション」
(日経BP)



「業界別！
AI活用地図8業界36業種の
導入事例が一目でわかる！」
(翔泳社)



「いちばんやさしいDXの教本」
(インプレス)



「この一冊で全部わかる
ビジネスモデル
基本・成功パターン・作り方が
一気に学べる」
(SBクリエイティブ)



「DX実行戦略 デジタルで稼ぐ
組織をつくる (日本語)」
(日本経済新聞出版)

6-2. 本検定を受検された方のスキルアップ／eラーニング

「DX検定™」（ITBT®検定）は、IT先端技術とビジネストrend知識の検定試験であり、「DX検定™」（ITBT®検定）が、それらの知識レベルを高め、「DX人財」になるための出発点です。そして、IT先端技術とビジネストrend知識の理解度を高め、目標となる「DX検定スコア」を取得するためには、継続的な学習が不可欠です。

以下に、eラーニング講座をご紹介します。（※参考書、eラーニング教材は予告なく最新のものと変更されます）

「DX検定™」（ITBT®検定）準拠学習教材

「DX Study™2022 eラーニング」

利用可能期間：3ヵ月

株式会社ネクストエデュケーションシンク

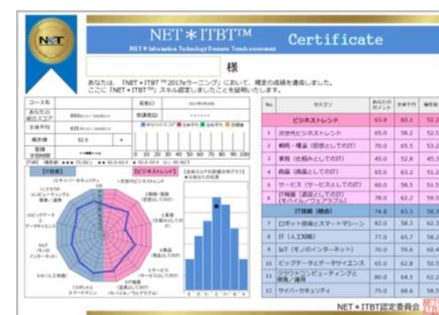
※内容は半年ごとに最新版に更新されます。



＜回答画面＞



＜解説一覧＞



＜修了証サンプル＞

7. 第9回「DX検定™」開催日程

「DX検定™（日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定）」開催概要

（DX人材の可視化検定）

申込・詳細URL：<https://www.nextet.net/kentei/test/index.html>

検定名	「DX検定™」（略称）日本イノベーション融合学会＊ITBT®検定
受検の概要	対象者：個人の受検と企業申し込みの社員など。検定後に学会の検定サイトで全体の結果を発表。認定者には学会の検定委員会承認の「認定証」が発行されます。 ※企業の人材のDXレベルでの組織分析オプションも提供可能。
試験概要	60分間で120問の知識問題（多肢選択式）出題。 Web受検 PC、タブレットでの受検が可能
出題問題	最新IT技術分野・ビジネストrend分野全般の必須知識項目から出題 推奨参考図書はWebサイトで案内
受検料	6,600円（税込） （検定サイトから、①法人申し込みでの事前受付、②個人申し込み） ※学生割引の適用は、学校経由での団体申込みとなります。
第9回開催日	（法人）2022年7月7日（木） （個人）2022年7月10日（日）
検定結果発表予定	検定実施日の1カ月後を予定。